

お知らせ

中島 徳至(26期卒)さん！博士号おめでとうございます！

令和7年10月7日（火）付の中日新聞朝刊に「ゼロスポーツ元社長 博士号」の見出しで、本校26期卒業の中島徳至さん（58歳）が岐阜大学大学院工学研究科において博士号を授与された旨が掲載されました。心よりお祝い申し上げます。

○記事によりますと、中島さんは約30年前の1994年、岐阜県発の電気自動車（EV）ベンチャー企業として「ゼロスポーツ」を設立されました。2010年にはEV車1030台の大型受注を獲得されましたが、その後、契約先企業の契約解除をきっかけに事業譲渡を経験されました。この挫折を乗り越え、2013年には「誰もがモビリティを利活用できる社会の創造」を目指し、ITベンチャー企業「Global Mobility Service 株式会社（GMS）」を岐阜市で再起動。自社開発の遠隔起動制御システムを活用し、「ローンが組めない人でも車を持てる仕組み」「真面目に働く人が正しく評価される社会」の実現に取り組まれています。現在は、フィリピン・インドネシア・カンボジア・韓国・日本の5か国で、200名を超える社員の皆さんとともに事業を展開されています。

○博士課程では「後進には経営難による同じ挫折を味わわせてはならない」との信念のもと、社長業をこなしながら7年にわたる研究を続けられました。論文名は「ベンチャー企業支援による地域創生のエコシステム」とし、急成長型のベンチャー起業家と支援機関が連携し、リスクを共有する体制の重要性などを訴えられておられます。

○また、若者の育成にも力を注がれ、大学生に実践的な学びの機会を提供するため、20年前から長期インターンシップの受け入れを開始し、多くの学生を支援されています。

「岐阜の若い人たちの挑戦を地元が応援できる環境になれば」との思いを胸に、地域の未来づくりにも尽力されるということです。

***主な経歴**

東京理科大学大学院修了。Global Mobility Service 株式会社 代表取締役社長 CEO、経団連審議員、東京理科大学上席特任教授、岐阜大学大学院非常勤講師、（一社）モビリティサービス協会代表理事。これまで、東京大学大学院非常勤講師、岐阜大学大学院客員教授、経済産業省のSDGs 経営／ESG 投資研究会委員、（一社）FinTech 協会理事等を歴任。

岐阜東高校同窓会・役員会